

株主の皆様へ

第7期 中間期 2008年1月1日～2008年6月30日



OPTEX FA CO., LTD.
オブテックス・エフエー株式会社

CONTENTS

プロフィール	1
センシング技術で、 世界の“モノづくり”を支援しています。	
主要製品	2
二つの分野で、世界中のお客様に 製品を供給しています。	
株主の皆様へ	3
新製品NEWS	5
■ 業界最高水準を実現した変位センサ 「CD5」シリーズを発売	
■ 業界初の照明モニタリングセンサを開発 照明のメンテナンスタイミングが一目瞭然に	
展示会レポート	6
要約中間連結財務諸表	7
要約中間個別財務諸表	9
株式の状況	10

センシング技術で、世界の“モノづくり”を支援しています。

生産性を高めながら、高品質なモノづくりを進める——。それは、グローバル競争に、安全・安心が求められる時代にあつて、世界のモノづくりの現場で必要とされる2つのニーズです。

当社の基盤技術「センシング」とは、直接、モノに触れることなく、数量や位置などさまざまな特徴を検出する技術のこと。当社は多彩なセンサの開発によって、高度化・多様化するモノづくりの現場を支えています。

3つの技術で「センシング」を実現しています。

物体の有無を検知する赤外線などの光学技術。
モノの位置を正確に検知するレーザ技術。
複雑な対象物をデジタル処理する画像処理技術。
当社のセンサはこの3つの技術を基盤にしています。

光学
技術

レーザ
技術

画像処理
技術

さまざまな外部の変化を
電子的に検出・分析

センシング技術
Sensing Technology

分析結果を
生産・品質管理に応用



品質向上



品質の
均一化



歩留まり
向上



高速化



精度向上



省力化



自動車業界で

例えば、変位センサを使ってブレーキディスクなどのゆがみを検知し、高精度な部品づくりに貢献しています。



電子部品業界で

例えば、形や色を認識する画像センサを用いて不良品を検出し、歩留まり向上に貢献しています。



医薬品業界で

例えば、正確さが求められる錠剤の個数管理などを通じ、医薬品の品質向上に貢献しています。



食品業界で

例えば、賞味期限のラベルを画像センサで読み取り、印字ミスが無いかを確認、品質管理に貢献しています。

光学技術

光電センサ

赤外線や可視光線などを使って、主に検出物の有無を判断。

レーザ技術

変位センサ

主にレーザ光線を使って、検出物の移動量や詳細な寸法を計測。

画像処理技術

画像センサ

デジタル画像処理技術を使って、色や文字など視覚情報を解析。

二つの分野で、世界中のお客様に製品を供給しています。

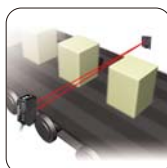
当社が開発・供給する製品は、大きく2つに分かれます。一般的な生産ラインで必要とされる汎用性が高い「汎用機器」と、特定用途向けに開発した「アプリケーション機器」です。当社では、後者の売上比率を高めることを大きな事業戦略としています。

汎用機器

短時間で多量の検査が必要とされる生産ラインで、物の有無や数量をカウントするなど、省力化・合理化を目的とした汎用性が高い製品群です。

■アンプ内蔵センサ

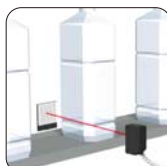
物体を検出するためのセンサ。
機能満載・耐環境性抜群・コンパクトを実現。



物流業界で
ダンボールの
通過確認

■透明体センサ

本来、センサが苦手とするような透明な物体を検出できるセンサ。
業界一の精度と安定性を実現。



食品業界で
ペットボトルの検出

■BGSセンサ

背景の色や対象物の色に影響を受けず検出できるセンサ。
※BGSとは、「Background Suppression」の略で「背景を無視する」という意味。



電子部品業界で
パーツフィーダの
残量検知

アプリケーション機器

品質管理の高度化、検査項目の複雑化など、お客様ごとに異なるさまざまなニーズにお応えするために、特定用途向けに独自開発した製品群です。

■画像センサ

デジタルカメラと同じような原理で、対象物を画像として認識。
色や形、文字などを認識する高機能センサ。



電子部品業界で
電子部品の裏表/
方向判別

■ファイバセンサ

ファイバの先端で物体を検知するため省スペースを実現。
使いやすさと精度を追求。



医薬品業界で
錠剤の落下検出

■レーザ変位センサ

物体がある位置から他の位置へ移動したときの移動量を測定するセンサ。
独自の開発力で高性能+リーズナブルプライスを実現。



自動車業界で
ブレーキディスクの
厚み測定

連結業績は計画を下回ったものの開発体制が軌道に。 今後は製品開発を加速させて市場を拡大していきます。



オプテックス・エフエー株式会社
代表取締役社長
小国 勇

Q 当中間期の業績とポイントについて教えてください。

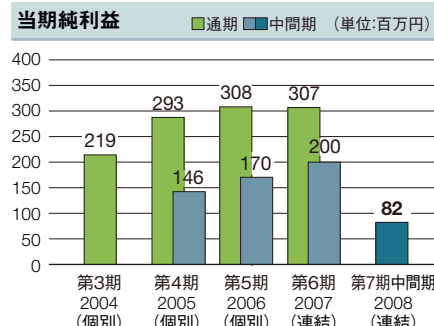
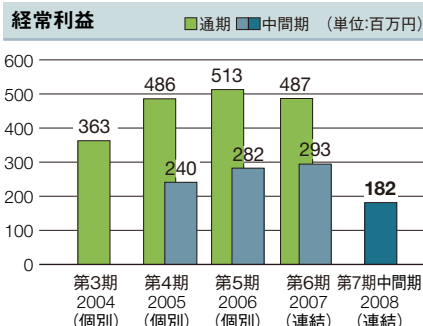
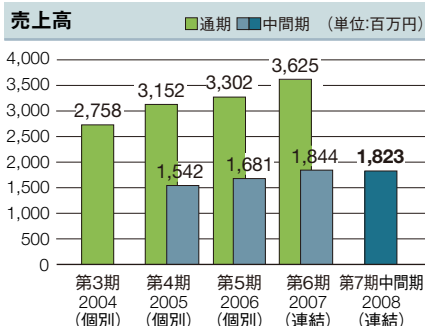
A 人員拡大による開発体制が本格的に稼働。
原材料価格の高騰などが利益面に影響しました。

当中間期、当社グループは業界最高水準の変位センサを開発（8月発売）するなど、拡充を図ってきた開発体制を本格的に稼働させ、今後の柱となる高付加価値製品の開発を積極的に推進しました。しかし、原油や原材料価格の高騰、為替変動などの経済環境の変化が、顧客業界における設備投資の抑制傾向を強め、当社にとっても厳しい環境となりました。

汎用機器は、欧州市場のSICK AG社（独）向け供給が堅調に推移しましたが、国内および北米向けは設備投資抑制の影響から低調であり、中国や韓国向けでも設備投資の減速に加え、競合先との競争が激化し、販売が伸び悩みました。

アプリケーション機器は、画像センサ「MVSシリーズ」の新製品2機種や、戦略製品である照明モニタリングセンサ「MDFシリーズ」などを発売し、従来の食品業界などに加え自動車や電子部品業界などの新たな顧客業界へと本格的に進出しました。新製品効果もあり国内向けの売上高は前期を上回りましたが、中国向けが他社との競争が激化したことから低迷、そして連結子会社における大型物件の受注が下期へずれたことを

財務ハイライト



大きな要因として売上高は計画を下回りました。

こうした結果、当中間期の連結業績は、売上高は前年同期に比べて微減であったものの、部材価格高騰による原価上昇、営業・開発強化による販売費・人件費等の増加が利益面を押し下げる結果になりました。

連結業績は、売上高は18億23百万円(前年同期比1.1%減)、営業利益は1億68百万円(前年同期比38.6%減)、経常利益は1億82百万円(前年同期比37.7%減)、当期純利益は82百万円(前年同期比59.0%減)でした。

Q 配当政策と通期の業績見通しについて教えてください

A 年間配当は期初計画通りを予定。通期業績の見通しでは売上高は微増。利益面では厳しい経済環境を織り込み計画しています。

当期から中間配当を実施し、1株あたり1,300円の配当としました。期末配当は1,300円とし、年間配当金は1株あたり2,600円を予定しています。

通期の見通しとしましては、欧州向け製品の好調な推移が予想されるものの、日本および北米市場では設備投資の抑制によって大型案件の受注や新製品の販売への悪影響、中国では台頭してきた地元メーカーとの競争激化が懸念されます。

こうしたことから通期の連結業績は、売上高38億円、営業利益3億40

百万円、経常利益3億70百万円、当期純利益2億20百万円を見込んでいます。

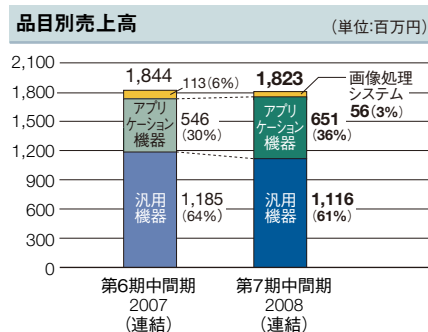
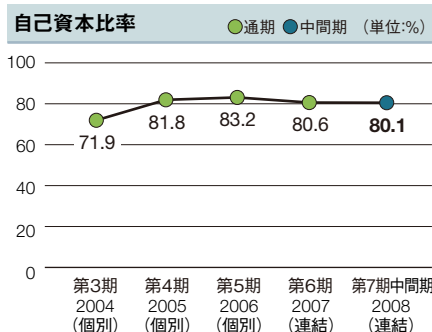
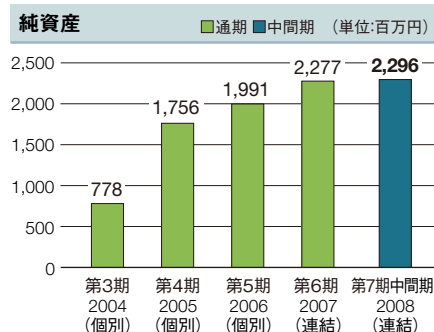
Q 今後の戦略について教えてください。

A 画期的な新製品の開発を軸として画像センサ分野での市場拡大を強力に推進します。

当社グループは、付加価値の高い製品分野、すなわち画像センサ分野での市場拡大を経営戦略の柱に据えています。とりわけ市場規模300億円と推定されるミドルレンジ市場の開拓を重要な施策としています。

施策推進のために、前期から開発系人材を増員して開発体制を強化するとともに、高度技術を有する企業の子会社化、関連技術を有する企業との協業体制の強化を進めてきました。当期からこうした施策が本格的な稼働期に入り、当期に発売した新型変位センサのように世界初・業界初をめざす複数の製品開発を進めており、来期にはその成果を示すことができる段階です。このほか特定顧客向けカスタマイズ開発や、欧州・アジア市場向けの販売促進を強化していく計画です。

株主の皆様におかれましては、当社グループの今後の成長に期待いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



業界最高水準を実現した変位センサ「CD5」シリーズを発売

当社は2008年8月1日、高精度変位センサ「CD5シリーズ」を発売しました。

自動車や電子部品などの業界では、製品の高さや幅、厚みなどを精密に計測するために、レーザ光線を用いた変位センサが活躍しています。極めて高い精度が求められるとともに、測定安定性と操作性も重視される製品領域です。

当社が開発した「CD5シリーズ」は、クラス最高水準の精度を実現する一方、独自開発のエンジンとコントローラの搭載によって、高精度・安定性・操作性を高次元で融合させた新製品です。ガラスの厚み、基板の反りの測定など、さまざま用途に応じたタイプをそろえ、今後の販売拡大が期待されます。

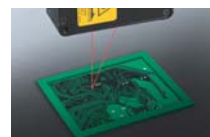


特長

1. クラス最高水準の精度: 従来比5倍のスペックを実現
2. 業界初の機能を装備: 厚みや段差、平衡度などの多点計測が1台で可能
3. クラス初の利便機能: センサヘッドに基本機能を集約。単体で測定可能 (特許申請中)



ガラスの厚み測定



基板の反り測定

業界初の照明モニタリングセンサを開発 照明のメンテナンスタイミングが一目瞭然に

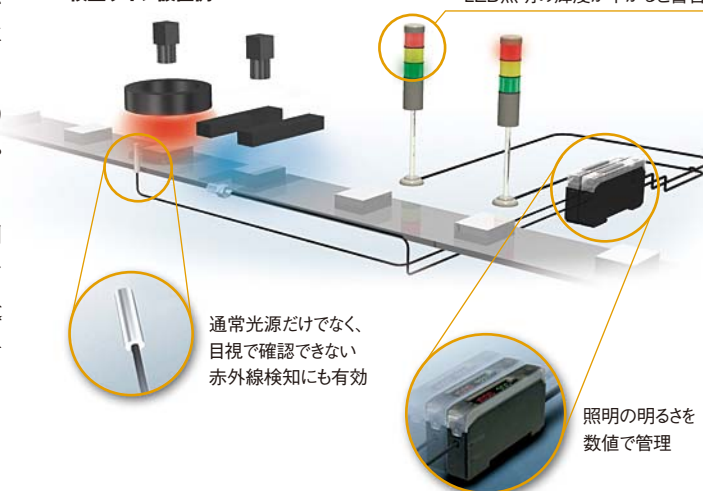
当社は、需要が拡大する画像検査市場に向けて、検査ラインの照明の明るさを数値管理できる「MDFシリーズ」を開発し、2008年2月に発売しました。

画像検査ラインではLED照明が主力となっていますが、照明を取り換えるタイミングの判断が難しく、照明の劣化による検査精度の低下や検査ミスも発生しています。

当社は、こうした課題を解決するために、業界で初めて照明の明るさを数値で管理できるモニタリングセンサを開発し、メンテナンスタイミングが一目でわかるようにしました。戦略的市場と位置付ける半導体業界を始めとして、自動車や電子部品業界への拡販に注力しています。

検査ライン設置例

LED照明の輝度が下がると警告



通常光源だけでなく、目視で確認できない赤外線検知にも有効

照明の明るさを数値で管理

アジア最大の食品機器展示会 「FOOMA JAPAN 2008」に出展

当社は2008年5月27日から4日間、東京ビッグサイトで開催された食品機器の総合展示会「FOOMA JAPAN 2008 国際食品工業展」に出展しました。“食の安全・安心”を求める消費者の声が高まる中、同展には700社以上が出展し、来場者も延べ11万人を超えるなど活況を呈しました。

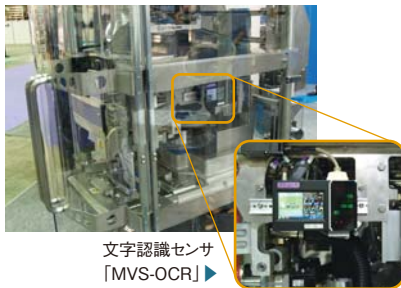
当社は、マルチカメラ画像センサ「MVSシリーズ」、オールインワン画像センサ「CVSシリーズ」など品質管理に貢献する製品を多数出展。特に、新発売の文字認識画像センサ「MVS-OCR」は、包装袋やラベルに印字される賞味期限や製造年月日などの印字不良を、デジタル化したシステムで安定してチェックできることから関心が集まり、当社ブースは大勢の来場者で賑わいました。なお、同展示会には、当社の画像センサを搭載した包装機械やプリンターなどを出展されたメーカー様も多数にのぼりました。



当社センサをご搭載いただいたお客様

株式会社東京自動機械製作所 様

縦ピロー包装機
「TWGX」

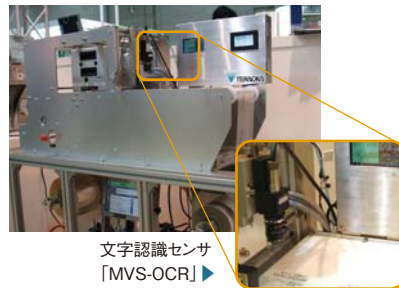


文字認識センサ
「MVS-OCR」▶

包装機械メーカーである同社の紙ピロー包装機にご採用。包装袋の印字チェック用として搭載いただきました。

株式会社寺岡精工 様

ダイレクトサーマルトランスファー
「Data Flex Plus&TTO-6210」



文字認識センサ
「MVS-OCR」▶

食品関連機器メーカーである同社のラベルプリント機械にご採用。賞味期限ラベルの印字チェック用として搭載いただきました。

東洋自動機株式会社 様

充填包装機
「TT-15C-8-10」



文字認識センサ
「MVS-OCR」▶

包装機械メーカーである同社の充填包装機にご採用。包装袋の印字チェック用として搭載いただきました。

要約中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表(要約) (単位:千円)

科 目	当中間期末	前中間期末	前 期 末
	2008年6月30日現在	2007年6月30日現在	2007年12月31日現在
(資産の部)			
流 動 資 産	1,795,961	2,017,414	1,755,663
現金及び預金	610,574	835,292	632,116
受取手形及び売掛金	775,045	839,104	693,935
たな卸資産	262,731	239,136	245,180
繰延税金資産	21,241	19,601	20,895
その他	127,082	85,028	164,159
貸倒引当金	△ 714	△ 748	△ 625
固 定 資 産	1,069,805	753,130	1,067,710
有 形 固 定 資 産	101,731	76,948	92,803
無 形 固 定 資 産	61,437	51,423	63,578
投資その他の資産	906,636	624,758	911,328
資 産 合 計	2,865,766	2,770,544	2,823,373

(単位:千円)

科 目	当中間期末	前中間期末	前 期 末
	2008年6月30日現在	2007年6月30日現在	2007年12月31日現在
(負債の部)			
流 動 負 債	420,092	471,919	403,941
買掛金	196,183	209,586	152,765
1年以内返済予定長期借入金	12,948	12,948	12,948
未払法人税等	96,760	126,487	103,559
賞与引当金	9,102	6,584	8,229
その他	105,098	116,313	126,438
固 定 負 債	149,073	140,014	142,208
負 債 合 計	569,165	611,933	546,149
(純資産の部)			
資 本 金	546,525	537,300	546,525
資 本 剰 余 金	554,098	544,873	554,098
利 益 剰 余 金	1,196,222	1,068,845	1,176,343
評価・換算差額等	△ 245	△ 353	△ 147
少 数 株 主 持 分	—	7,945	405
純 資 産 合 計	2,296,600	2,158,610	2,277,224
負 債 ・ 純 資 産 合 計	2,865,766	2,770,544	2,823,373

中間連結損益計算書(要約)				(単位:千円)			
科 目	当中間期	前中間期	前 期				
	2008年1月1日から 2008年6月30日まで	2007年1月1日から 2007年6月30日まで	2007年1月1日から 2007年12月31日まで				
売 上 高	1,823,561	1,844,410	3,625,722				
売上原価	1,047,945	1,028,162	2,053,434				
売 上 総 利 益	775,615	816,248	1,572,288				
販売費及び一般管理費	606,805	541,133	1,114,143				
営 業 利 益	168,810	275,115	458,145				
営業外収益	18,885	22,105	43,521				
営業外費用	4,930	3,914	14,662				
経 常 利 益	182,765	293,305	487,004				
特別利益	—	31,649	31,659				
特別損失	235	187	6,139				
税金等調整前中間(当期)純利益	182,530	324,767	512,523				
法人税、住民税及び事業税	101,153	123,639	208,993				
法人税等調整額	△ 387	△ 2,885	△ 441				
少数株主利益(損失)	△ 405	3,768	△ 3,771				
中 間 (当 期) 純 利 益	82,169	200,244	307,743				

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要約)				(単位:千円)			
科 目	当中間期	前中間期	前 期				
	2008年1月1日から 2008年6月30日まで	2007年1月1日から 2007年6月30日まで	2007年1月1日から 2007年12月31日まで				
営業活動による キャッシュ・フロー	113,831	131,739	244,444				
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 66,609	△ 23,369	△ 351,225				
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 68,764	△ 140,418	△ 128,442				
現金及び現金同等物の 減少額	△ 21,542	△ 32,048	△ 235,223				
現金及び現金同等物の 期首残高	632,116	867,340	867,340				
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	610,574	835,292	632,116				

中間連結株主資本等変動計算書									(単位:千円)								
		株主資本				評価・換算差額等		少数株主 持分	純資産 合計								
		資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計										
2007年12月31日 残高		546,525	554,098	1,176,343	2,276,967	△ 147	△ 147	405	2,277,224								
中間連結会計期間中の変動額																	
剰余金の配当				△ 62,290	△ 62,290				△ 62,290								
中間純利益				82,169	82,169				82,169								
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)						△ 97	△ 97	△ 405	△ 502								
中間連結会計期間中の変動額合計		—	—	19,879	19,879	△ 97	△ 97	△ 405	19,376								
2008年6月30日 残高		546,525	554,098	1,196,222	2,296,846	△ 245	△ 245	—	2,296,600								

要約中間個別財務諸表

中間個別貸借対照表(要約)

(単位:千円)

科 目	当中間期末	前中間期末	前 期 末
	2008年6月30日現在	2007年6月30日現在	2007年12月31日現在
(資産の部)			
流 動 資 産	1,749,730	1,836,470	1,639,608
現金及び預金	568,160	771,465	590,685
受取手形	112,295	85,397	99,130
売掛金	650,148	705,728	568,332
たな卸資産	207,238	164,289	183,355
繰延税金資産	21,241	19,601	20,895
未収消費税等	36,690	34,131	71,421
その他	154,669	56,604	106,414
貸倒引当金	△ 714	△ 748	△ 625
固 定 資 産	1,108,417	785,844	1,106,527
有 形 固 定 資 産	97,716	71,554	88,198
無 形 固 定 資 産	26,824	7,034	24,172
投資その他の資産	983,875	707,255	994,156
資 産 合 計	2,858,148	2,622,315	2,746,136

(単位:千円)

科 目	当中間期末	前中間期末	前 期 末
	2008年6月30日現在	2007年6月30日現在	2007年12月31日現在
(負債の部)			
流 動 負 債	384,232	426,455	372,321
買掛金	186,173	200,403	148,954
未払金	55,507	58,378	81,634
未払法人税等	96,621	126,397	103,379
賞与引当金	9,102	6,584	8,229
その他	36,828	34,690	30,123
固 定 負 債	97,221	75,214	83,882
負 債 合 計	481,453	501,669	456,203
(純資産の部)			
資 本 金	546,525	537,300	546,525
資 本 剰 余 金	554,098	544,873	554,098
利 益 剰 余 金	1,276,316	1,038,826	1,189,457
評価・換算差額等	△ 245	△ 353	△ 147
純 資 産 合 計	2,376,694	2,120,646	2,289,933
負 債 ・ 純 資 産 合 計	2,858,148	2,622,315	2,746,136

株式の状況

(2008年6月30日現在)

中間個別損益計算書(要約)

(単位:千円)

科 目	当中間期 2008年1月1日から 2008年6月30日まで	前中間期 2007年1月1日から 2007年6月30日まで	前 期 2007年1月1日から 2007年12月31日まで
売 上 高	1,767,616	1,731,722	3,443,618
売上原価	1,011,711	977,833	1,956,437
売 上 総 利 益	755,904	753,888	1,487,181
販売費及び一般管理費	524,544	461,402	971,032
営 業 利 益	231,360	292,486	516,148
営業外収益	19,731	22,636	44,483
営業外費用	1,261	1,042	2,269
経 常 利 益	249,830	314,080	558,362
特別利益	—	177	186
特別損失	235	—	5,952
税引前中間(当期)純利益	249,595	314,257	552,597
法人税、住民税及び事業税	100,834	123,549	208,813
法人税等調整額	△387	△152	2,292
中 間 (当 期) 純 利 益	149,148	190,860	341,491

株主数及び株式数

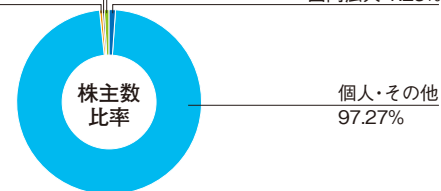
会社が発行する株式の総数	80,000株
発行済み株式の総数	24,916株
1単元の株式の数	1株
株 主 数	1,283人

大株主一覧

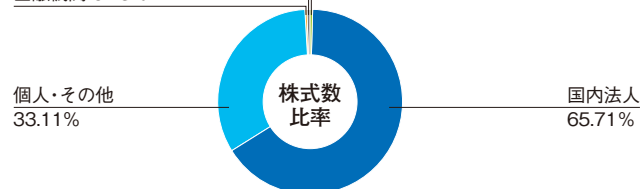
株 主 名	株 数	持 株 比 率
オプテックス株式会社	15,400 株	61.80 %
小國 勇	812	3.25
小林 徹	280	1.12
オフロム株式会社	240	0.96
岩田 俊彦	212	0.85
株式会社山正マーケティングサービス	200	0.80
西原 弘之	196	0.78
湯口 翼	184	0.73
松本 邦広	180	0.72
サンオクト株式会社	160	0.64

株式分布状況

外国法人等 0.31% 証券会社 0.78%
金融機関 0.39% 国内法人 1.25%



外国法人等 0.51% 証券会社 0.42%
金融機関 0.25%





オプテックス・エフエー株式会社

〒600-8815

京都市下京区中堂寺栗田町93 京都リサーチパーク4号館8F

TEL : (075) 325-2930 FAX : (075) 325-2931



ヘラクレス上場会社: 6661

会社概要 (2008年6月30日現在)

会 社 名	オプテックス・エフエー株式会社
本 社 所 在 地	〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93 京都リサーチパーク4号館8F
設 立	2002年1月7日
資 本 金	5億4,652万円
事 業 内 容	ファクトリー・オートメーション用光電センサ関連 機器、装置の製造・販売等
従 業 員 数	72名(連結) 54名(単体)
事 業 所	東京営業所 名古屋営業所
関 係 会 社	オプテックス株式会社(滋賀) ジックオプテックス株式会社(京都) 日本エフ・エーシステム株式会社(神奈川)

役員 (2008年6月30日現在)

代表取締役社長	小 國 勇
取 締 役	坂 口 誠 邦
取 締 役	岩 田 俊 彦
取 締 役	西 原 弘 之
取 締 役	湯 口 翼
取 締 役	小 林 徹
常 勤 監 査 役	見 座 宏
監 査 役	八 幡 知行
監 査 役	東 晃

見通しに関する注意事項

当報告書の記載内容のうち、歴史的事実でないものは将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見通しとは異なる場合がございます。

株主メモ

上場証券取引所	大阪証券取引所ヘラクレス
証 券 コ ー ド	6661
決 算 期	12月31日
定時株主総会	3月に開催
基 準 日	12月31日
中間配当基準日	6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店

ホームページに最新のIR情報を掲載しています。
皆様からのアクセスをお待ちしております。

<http://www.optex-fa.jp/>



トップページ

IR情報を始め新製品、展示会などのニュースが一目でわかります。ぜひブックマークに入れてください。

株主・投資家の皆様へ

皆様のお役に立つために、積極的に迅速な情報開示に取り組んでいます。



この報告書は古紙配合率100%再生紙、大豆油インキを使用しています。